

ほけんだより

かしま2021.9

8月から改修工事が始まり、園児も落ち着かない毎日です。密にならないように、換気を十分取り、消毒を徹底しています。また、ケガをしないよう業者共々安全に目を光らせています。

9月の保健目標:体のリズムを整える

病気やケガに気をつける

緊急事態宣言が発令され、連日のように過去最高数値の感染者数が報道されています。保育園でも、毎日の健康観察(体温、症状、機嫌等)に気を配っています。ご家庭でも十分に健康管理(外出自粛、マスク着用、手指の消毒等)に注意を払ってくださるようお願いいたします。未満児では、毎日のように発熱、せきなどの症状で欠席する園児が大勢います。再度、こども課からの注意事項を掲載します。ご協力をお願いします。

避難指示発令!

どう行動する?



2021年5月、大雨などの災害時に出される避難情報に変更されました。全部で5段階ある警戒レベルのうち、レベル4が出た場合は「必ず避難」となりましたが…では、対象地域の全員が緊急避難場所へ移動しなければいけないのでしょうか?

ポイントは「難」を「避」けること。安全な場所に住んでいる親戚の家に行くことも避難です。

川が決壊した場合などに備え、自分の家は浸水や土砂災害の可能性があるのか、避難場所までの道のりに危険はないかなどをハザードマップでチェックし、命を守るための最善策を確認しておくことも重要です。

災害時、正しく情報を収集し、自分や家族を守る行動ができるよう、日頃から話し合っておくことも大切ですよ。



保育園、放課後児童クラブを利用している保護者の皆様へ

次のような場合、保育園でお子さんをお預かりできません。すぐに利用している施設まで連絡してください。

お子さんについて

1. 登園前にお子さんに発熱や風邪症状がある場合
2. 熱が下がってから、24時間を経過するまでの期間
3. 病院などからお家で安静にするよう診断された期間

お子さんや家族、親しい友人等について

1. 病院の診断により、新型コロナウイルス感染症の感染を調べる検査を受ける場合
2. 濃厚接触者となった場合など、感染しているかもしれない場合
3. 感染を調べる検査により、陽性と診断された場合
4. 保健所から健康観察と判断された期間

ルールを守れない方がいると、臨時休園等により、同じ施設を利用している全ての方のお仕事にも影響が出てしまいます。

保護者の方へ

靴選びは、デザインよりサイズがポイント

成長期の足は骨が柔らかく変形しやすいため、注意が必要です。

● 大きすぎる靴

足の指で踏んばれなくて扁平足になったり、足の指に余分な力が入るために外反母趾になる危険があります。



● 小さすぎる靴

指が丸まり骨の成長を妨げます。

ぴったりサイズのチェックポイント

- つま先のゆとりは指がグーパーできるくらい
- 足の横がきつくない
- かかとがバカバカしない
- つま先が反りあがっている
- 足が曲がる位置で靴も曲がる
- 靴底に弾力がある

5~10mm



小学生の足は1年に約1cm大きくなります。足にピッタリの靴を選んであげてください

